

令和6年度
農山漁村発イノベーション
中央サポートセンター事業
エグゼクティブプランナー募集要項



農山漁村発イノベーション中央サポートセンター
(運営主体:株式会社パソナ農援隊)

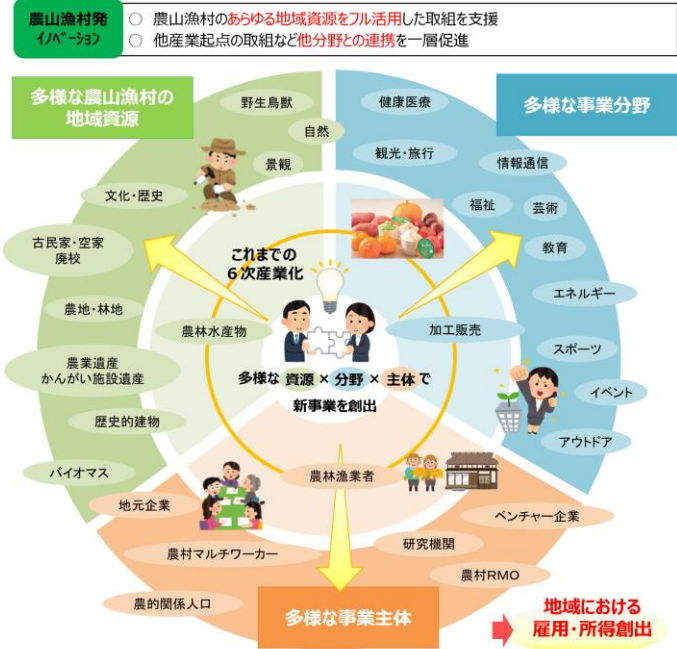
■ 農山漁村発イノベーションの概念

農山漁村発イノベーションとは、農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し、新事業や付加価値を創出することによって、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図る取組のことです。

これまで農林水産省では、農林水産物の付加価値を高め、農林漁業者の所得向上に資する重要な取組の1つとして、農林漁業の6次産業化の推進に取り組んできました。

今後の農村施策の実施にあたっては、農業以外の所得と合わせて一定の所得を確保できるよう、多様な機会を創出し、安心して農村で働き、生活できる環境を整えていくことが重要です。

令和4年度からは、この6次産業化を発展させて、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の多様な地域資源も活用し、農林漁業者はもちろん、地元企業なども含めた多様な主体の参画によって新事業や付加価値を創出していく「農山漁村発イノベーション」を推進しております。(農林水産省HPより抜粋)



■ 農山漁村発イノベーションの目指す方向性

区分	アイデア・工夫	付加価値	達成目標(結果)
6次産業化 (1次×2次×3次)	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発 販路開拓 デザイン・販売促進 		<ul style="list-style-type: none"> 6次化事業者の売上と利益の増加 雇用創出 設備投資
農山漁村発イノベーション (多様な「地域資源×事業分野×事業主体」) ➡ 多様な掛け算 ∴ 組み合わせや展開方法は∞	<ul style="list-style-type: none"> (新たな何か) 商品・サービス 販路・展開 分野・事業者との連携 仕組み・システム 顧客 参画者 新技術の導入、既存技術の利活用・応用 情報発信・プロモーションなど 	<ul style="list-style-type: none"> (イノベーション) 持続可能な経営資源や地域資本の確保 新事業(ビジネス)の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 農山漁村における 所得の確保(主体者、関係者) 雇用機会の確保(地域)
		<ul style="list-style-type: none"> 新たな関係人口の構築 新たなビジネスシステムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 移住・定住の促進

作成：(一社)食農共創プロデューサーズ 長谷川 潤一氏

これまでの6次産業化は、6次化事業者の「個」の付加価値創出が達成目標。農山漁村発イノベーションでは、農林漁業者が主体となり、『多様な地域資源』『多様な事業分野』『多様な参画者』などを掛け合わせる(*すべての要素を掛け合わせる必要はない*)ことにより新事業や付加価値を創出し、主体者や関係者の所得の確保や地域での雇用機会の確保により、農山漁村の活性化の実現を目標としています。

- 支援目的 -

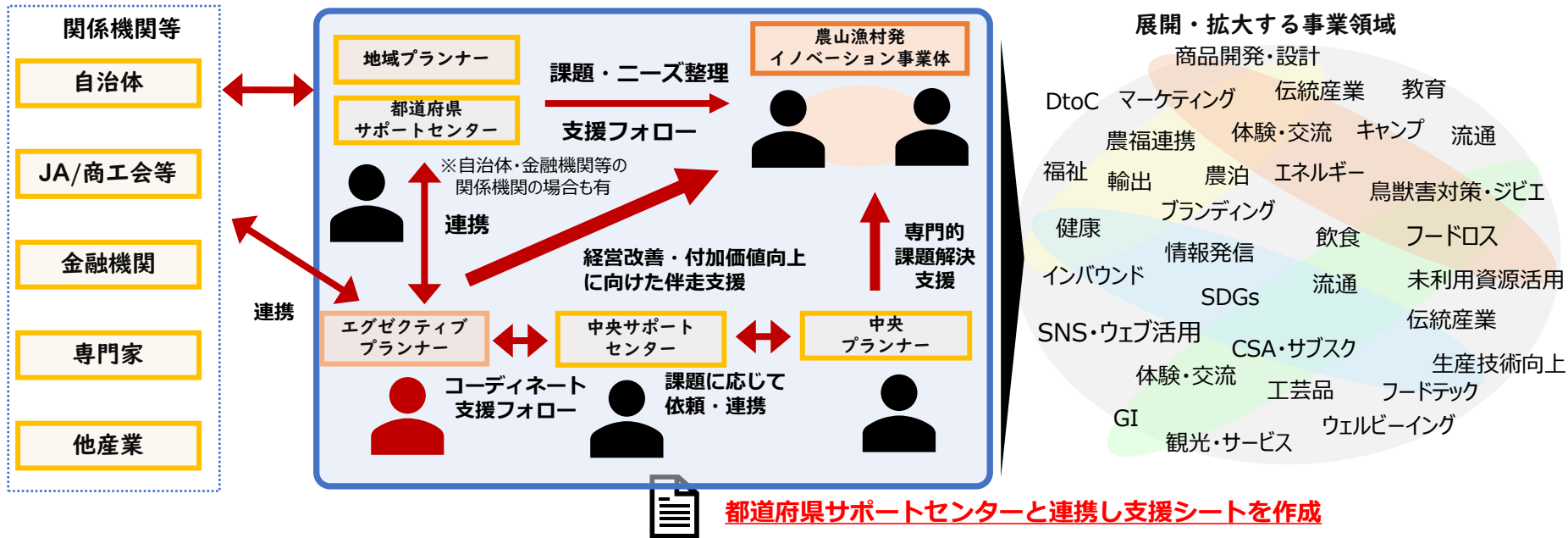
エグゼクティブプランナーの伴走支援により、支援事業者の既存の取組の拡大や多様な「地域資源×事業分野×事業主体」の新たな掛け合わせによるビジネスの拡大や創出を実現し、農山漁村における所得の確保・雇用の創出により地域経済発展に寄与する。

多くの支援実績、広い人的ネットワーク及び豊富なアイデアを有するエグゼクティブプランナーが、農山漁村発イノベーション事業体の経営発展及び改善におけた成長を図るべく、様々な支援関係者や産業と連携して、総合的にマネジメントする支援体制を築き、未来に向けたビジョン構築と地域経済波及をもたらすような戦略の実行支援を行うことで、地域の中核となる人材育成を図り、地域での収益・雇用に創出する農山漁村発イノベーションの創出を目的とします。

支援事業体経営目標：支援開始年度を基準とし、付加価値総額（経常利益+人件費+減価償却）1.5倍を中央サポートセンターの目標数値とする。

エグゼクティブプランナーの派遣概要について

エグゼクティブプランナー（EXPL）は都道府県サポートセンターの支援対象や関係機関からの相談案件の中から、経営改善や事業の発展に向け特に重点的に支援する必要がある案件（**重点支援案件**）に対し、高度な指導能力と豊富な知識に基づき、**関係機関等と連携**しながら、多角的なアイデアと様々な人的ネットワーク活用し、農山漁村発イノベーション事業体の経営全体の付加価値向上におけた**戦略構築**を行います。そして中央プランナー等とともに、**地域波及効果や事業発展をもたらすための実行を支援**します。さらには、支援を通じ事業者自らの**自発的行動を促進するための人材育成**を行い、支援後の自立・自走を実現して参ります。



エグゼクティブプランナー支援イメージ（例）

事務局事前ヒアリング

- ・支援先概要の把握
- ・地域資源の確認
- ・課題、方向性の整理
- ・支援連携体制構築
- ・ネットワーク整備等

事務局との打合せ

- ・担当COより支援対象者の課題共有
- ・支援課題の優先付け
- ・支援方向性の検討等

（初回～3回目）

- ・課題の洗い出し
- ・優先順位の決定
- 連携体制の構築
- ・戦略分析
- ・ビジョン策定等

（4～6回目）

- ・計画策定、改善実行
- ・戦略の振り返り
- ・連携体制強化
- ・中央支援検証委員会にて検証等

（7回目）

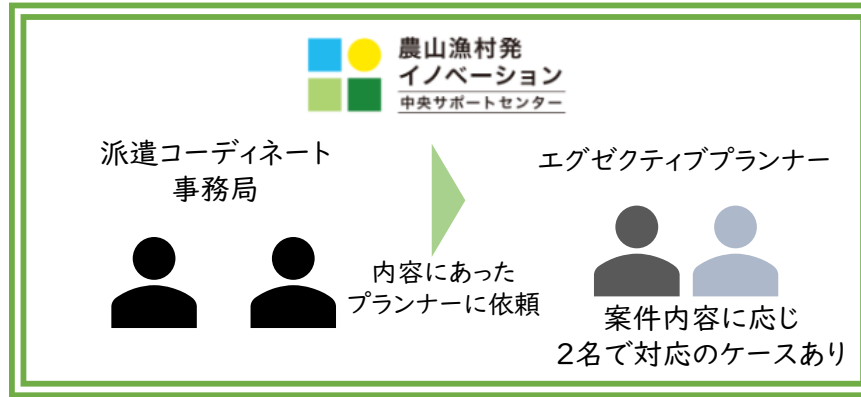
- ・経営改善戦略構築
- ・ロードマップ策定
- ・付加価値成果測定
- ・自走体制構築
- ・中央支援検証委員会にて報告等

エグゼクティブプランナーの派遣概要について

■エグゼクティブプランナー派遣依頼の流れ■

(関係機関)

- サブファンド等
- 日本政策金融公庫
- 信用組合
信用金庫
- 農業経営相談所
- よろず支援拠点等



- 農林水産省
- 地方農政局等

プランナー派遣に関する
依頼・相談(直接)

農林水産省
ビジネスコンテスト受賞者等

INACOME
ビジネス
コンテスト

ディスカバー
農山漁村
の宝

都道府県
サポートセンター

重点支援
対象案件

各都道府県

総合化認定
事業者

交付金活用
事業者

過年度
支援対象者

普及組織等
への相談者

林業・水産業
担当

エグゼクティブプランナー選考要件について

■エグゼクティブプランナー選考要件■

①農山漁村発イノベーションの取組及び事業者に対する俯瞰的且つ高度な指導能力と専門知識があるか

選定に際し、客観的に上記能力があるかを判別するため、選定基準の中に推奨資格及びそれに準ずる知見・経験を持ち合わせているかを審査基準にします。

②バリューチェーン、地域活性化、地域連携・他産業連携及び戦略立案能力、デザイン思考といった知識を基盤に、実践的スキルとして、そのような経験を複数以上持っているか

エグゼクティブプランナーの役割は、農山漁村発イノベーションの取組による事業体のさらなる発展と付加価値向上を行うため、多岐に渡る視野をもち、地域や他産業を巻き込んだ上で、戦略・ビジョンを作り、実現に向けての客観的なマネジメントを行う必要があると考えられるため。

③優れたネットワーク及び情報収集力、政策・施策の動向分析力、企画・調整力をもっているか

エグゼクティブプランナーの派遣は都道府県サポートセンターや関係機関との連携支援が不可欠であり、コミュニケーション能力は基より、ネットワークや情報を駆使した連携体制を構築することが必要であるため。

④検討委員会等への参加など、情報共有のために必要な時間を確保できること。

定期的開催される中央支援検証委員会にて、支援の進捗状況を報告をお願いすることがあります。プランナー同士の情報共有、ネットワーク構築を行い、支援を進めていくため。

◎推奨資格

総務省地域力創造アドバイザー、食の6次産業化プロデューサーレベル4以上/農業経営上級アドバイザー/内閣府地域活性化伝道師等それらに準ずる知見及び経験

*推奨資格保有者であっても、自動的にエグゼクティブプランナーに採用されるということではありません。

■エグゼクティブプランナー派遣についてのルール■

エグゼクティブプランナーは、中央サポートセンター、都道府県サポートセンターのプランナーと以下の点が異なります。

- ①エグゼクティブプランナーは、中央プランナー及び地域プランナーと併任することは出来ません。
- ②謝金は1回の支援につき50,000円(税抜)(※1回の支援は、**2時間以上とし上限は設定しておりません。**)とします。
- ③エグゼクティブプランナーの支援においては、支援シートや経営改善戦略策定等の書類作成も発生します。
- ④1事業者に対する支援回数は、年度内**7回**を上限といたします。
- ⑤中央検証委員会において、求めに応じ、担当する事業体の支援状況報告や事業終了時には支援結果報告をしていただきます。

4/26~5/15

エントリー開始/応募書類受付

5/16~5/20

一次選考(書類選考/事務局)
応募書類(応募申込書/支援実績等)を元に支援スキル、専門性を判断します。

5/21~5/24

二次選考(事務局及び検証委員)
支援実績のプレゼンテーション(10分)、質疑応答(20分)

中央検証委員会での選定協議

6/中旬

選定結果通知

6/中旬

誓約書等必要書類の提出

エグゼクティブプランナーは、原則、中央プランナー又は地域プランナーからの登用としますが、様々な視点を持つエグゼクティブプランナーを登用するため、他省庁事業及び民間、団体等において、農山漁村におけるイノベーションの支援経験がある方も応募可能といたします。

エグゼクティブプランナー支援案件について

『農山漁村での所得と新たな雇用機会確保による地域経済の活性化』を目的とし、その実現を図る為、①『既存事業の取組み拡大』や②多様な農山漁村の『地域資源』『多様な事業分野』『多様な参画者』などの掛け合わせによる新たな付加価値や事業価値の創出③デジタル技術等の活用による既存事業モデルの発展・転換などを支援いたします。

1. 経営発展を図っていくために既存事業拡大や地域連携または他分野連携など広域的な展開を行う
地域経済拡大を目的とした6次産業化による付加価値額拡大、地域内での連携体制構築や広域展開への発展を見据えた案件
2. ビジネスモデルの新規構築や変更等事業の転換期を迎えている
イノベーションによる事業の拡大や経営を改善していくために、組織の再構築やマーケティング・財務・人材・商品・営業など経営戦略の見直しが必要となるような案件。
3. 地域の中核経営体や地域リーダーへの成長を目指している
地域において今後の中核を担う地域リーダーへの成長に向けた人材育成が必要となるような案件。

◎案件パターン(下記は例)

- ・農山漁村発イノベーションの発展におけたさらなるネットワーク構築が必要
- ・コンセプトはあるが事業スキームが固まっておらず事業戦略の構築が必要
- ・事業の多角化による複合経営へのシフトを図る
- ・法人化(家族経営からの経営発展)や事業承継を検討すべく、経営の再構築が必要
- ・自社だけでなく地域を含めたブランディング及び戦略立案をしていくことが必要
- ・異業種(福祉・観光・流通など)連携の発展におけた戦略構築及び実行支援が必要
- ・現在展開している地域を超え、広域的な戦略が必要
- ・新規事業として地域のリソースを活用したビジネスモデルを構築する
- ・ソーシャルビジネスに向けた戦略構築及び実行支援が必要
- ・INACOMEビジネスコンテスト受賞者、ディスカバー農山漁村の宝アワード選定事業者

農山漁村での所得と雇用機会の確保につながる持続可能な取組みを実行支援いたします。

農山漁村発イノベーション中央サポートセンター

(実施主体:株式会社パソナ農援隊)

担当:中島・竹越

〒107-0062

東京都港区南青山3-1-30

TEL:03-6734-1260

email:info@nou-innovation.com